

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法		講義	
科 目 名	神経系の構造・機能・病態		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30	(2) 時間(単位)	
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期 金曜3限	教室名	第4校舎401		
担 当 教 員	丸山 めぐみ	実務経験とその関連資格	友愛会病院で言語聴覚士として勤務、成人(主に脳疾患等)の言語聴覚療法に携わる。					
《授業科目における学習内容》								
神経系の構造や機能を学び、麻痺や感覚障害の発現するメカニズムを理解する。随所で今後学ぶ臨床神経学につながるtipsも伝えていく。								
《成績評価の方法と基準》								
学期末テスト(筆記試験)において60%以上の得点をもって合格とする。								
《使用教材(教科書)及び参考図書》								
病気が見えるvol7.脳・神経、色えんぴつ								
《授業外における学習方法》								
教科書には授業で提示した以外の図表も多数掲載されている。脳の構造を立体的に捉えることは簡単ではない為、復習時に合わせて教科書を確認し、理解を深める必要がある。								
《履修に当たっての留意点》								
この講義は今後の専門科目を学ぶ上で基礎となるものである。専門用語や記憶する名称も多く、学び始めは大変であるが、1つ1つ着実に身につけてることが重要である。								
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容			
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢神経、抹消神経を分類できる。 大脳各部位の名称、大まかな働きを述べることができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。			
		各コマにおける授業予定	神経系の成り立ち/大脳皮質の各部位/ブロードマンの皮質領野/運動野、体性感覚野、聴覚野、視覚野、前頭前野、言語関連領域					
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	大脳辺縁系、大脳基底核等の構造を捉え、機能を説明できる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称を覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。			
		各コマにおける授業予定	大脳辺縁系/大脳基底核/間脳/脳幹/小脳/脊髄					
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経細胞の名称を述べることができる。 神経伝達について説明することができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称を覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。			
		各コマにおける授業予定	神経細胞、神経伝導、神経筋接合部(シナプス伝達)、神経伝達物質					
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳脊髄液の循環を説明することができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。			
		各コマにおける授業予定	髄膜の構造/脳室の構造/脳脊髄液とその循環/ <くも膜下出血とは?>					
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳の血管と支配領域を説明することができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚えておく。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。			
		各コマにおける授業予定	脳血管とその支配領域/ウィリス動脈輪/ <脳動脈瘤破裂、脳梗塞、脳出血とは?>					

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 大脳の神経線維の名称と部位を述べるができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
	各コマにおける授業予定	投射線維、交連線維、連合線維		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 錐体路の経路を説明できる。中枢と末梢を区別することができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
	各コマにおける授業予定	錐体路/上位運動ニューロン(中枢)と下位運動ニューロン(末梢)		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 これまで理解した内容について整理し、質問に適切に答えることができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前半に学んだ内容をよく復習しておく。
	各コマにおける授業予定	問題演習と解説		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 脳神経12対の構造を説明できる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
	各コマにおける授業予定	脳神経12対		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 脳神経12対の働きを説明できる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
	各コマにおける授業予定	①嗅神経～⑤三叉神経		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 脳神経12対の働きを説明できる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
	各コマにおける授業予定	脳神経⑥顔面神経～⑫舌下神経		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 脳神経12対の障害の出現メカニズムをイラストに書いて説明できる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
	各コマにおける授業予定	脳神経の障害発症メカニズム		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 錐体外路症状、小脳失調を説明できる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
	各コマにおける授業予定	錐体外路と障害時の症状(錐体外路症状)/小脳路と障害時の症状(運動失調)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 感覚が伝わる経路を説明できる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
	各コマにおける授業予定	感覚が伝わる経路/感覚障害		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 脳画像撮影方法の種類と特徴を述べるができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
	各コマにおける授業予定	形態画像解析/機能画像解析		